

機 巢

メールマガジン

Vol. 4 冬号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 同窓会報

P-2	目次 & 会長挨拶	中野 廣幸 (4期生)
P-3	機械設計技術試験の紹介 機械工学科	片峯 英次
P-4	4年生研修旅行 機械工学科4年担任	石丸 和博 (18期生)
P-5	高専祭 機械工学科専門展	石丸 和博 (18期生)
P-6	若鮎会50周年記念事業経過報告	太田 哲也 (6期生)
P-7	卒業生からの便り	梅田 茂之 (25期生)
P-8・9・10	岐阜高専吹奏楽部 50周年定期演奏会紹介	坂井 善幸 (E3期生)
P-11	「機楽」メールマガジンHP 閲覧方法&配信登録方法 編集後記	

会長挨拶

中野 廣幸

2016年あとわずかとなり、皆様におかれましては実り多き一年であったこととご推察申しあげます。

私事ではありますが、11月1日の計量記念日に、計量関係功労者として経済産業省産業技術環境局長表彰を受賞させていただきました。55歳でパナソニックエコシステムズ(株)を退職し、計量士として定年起業して10年、今回受賞させていただくことになりましたが、岐阜高専での基礎の学習、会社での経験、その中でお世話になった皆様方のサポートが結実したものであると深く感謝いたしております。

さて、来年2017年9月9日(土)には、若鮎会創立50周年記念式典が、長良川国際会議場および岐阜都ホテルにて開催されます。記念式典の中では、卒業生による高専生活の振り返り、また社会での活躍をテーマとしたパネルディスカッションが企画されています。私は先にも申しましたように定年起業をいたしました。岐阜高専の卒業生は、それぞれにたくましく自分の人生を切り開いておられます。このパネルディスカッションでは、卒業生の皆様の様々な生き方が紹介され、きっと皆さまのこれからの人生を考える上で、大きくお役に立つ内容になると考えます。またこの機会に、各クラスの同窓会もしていただけますように、ホテルパークみなと館に、20クラス分ではありますが、宿泊プランも準備しております。同窓会補助金についても、通常同窓会では一人当たり1,000円を機楽会から補助することになっておりますが、今回に限り一人当たり2,000円の補助することといたしました。クラス幹事のみなさまにおかれましては、どうぞこの機会を利用していただき、いままでの人生を振り返り、旧交を温めるとともに、今後の人生を考える良い機会にしてくださいと存じます。



[機械設計技術試験の紹介]

機械工学科 片峯英次

本年度より、機楽会より、受験奨励金、試験合格金等のご支援をいただいております機械設計技術者試験について紹介します。

約 10 数年前、機械工学科教職員内では、学生の学力低下、学力の二極化が問題視され、機械工学における基礎学力保証の重要性が議論されてきました。その対策の一つとして、筆者は、学生がスキルを獲得すること、また学生の学力の客観的な評価として、外部試験の一つである機械設計技術者試験（3 級）への受験を奨励し、合格できる学生を育成することを提案しました。筆者は、この受験奨励を提案する前、文部科学省在外研究員として、約 1 年間、米国スタンフォード大学に滞在した経験があり、まさにこの経験に基づいての提案でした。（多くの岐阜高専？の学生のように）学内定期試験のためだけ？に学んでいるのではなく、海外の学生の多くは、より優れたスキルを身につけて、各自が希望する就職先・進学先を得るために学んでいることを、自分の目で確認できました。実際、日本では、大卒・高専卒の初任給は学歴に応じてほぼ同様ですが、海外では、学生の有するスキルに応じた初任給が支払われます。

さて、機械設計技術者試験は、「設計技術者の能力を正しく評価し、所定の能力を有する者を認定する」ことを目的として、社団法人日本機械設計工業会が年 1 回実施している試験です。学生の身分で受験できるのは 3 級のみであることから、本学科では平成 16 年度から、4 年生全員に 3 級試験の受験を奨励してきました。本学科では、各科目に対する学生サポート教員を明確にし、受験者全員が本試験に合格することを目的として、学科教職員が協力して学生の学力向上の支援を行っています。具体的には、平成 16 年度の受験奨励の導入時期から、4 年次 4 月初旬頃と 10 月初旬頃に、本試験の過去問題を利用した 2 回の模擬試験等を実施しています。

受験奨励の導入以降における本試験の受験者、合格者、および合格率について、本学科と全体における受験者との結果を比較して、表 1 に示します。受験奨励の導入当初は、本学科 4 年次の学生（定員 40 名）のほぼ全員が受験し、合格率が 90%を超えた時代もありました。その後の平成 23 年度まででは、全体受験者合格率が 30%台であるのに対して、本学科の受験者合格率は 70%以上を示し、高い合格率を維持して、学生の基礎学力が保証されていることが確認できます。しかしながら、年度進行につれて合格率は低下傾向にあり、平成 24 年度の合格率は 70%を割ってしまいました。昨年の平成 27 年度、受験者数はやや少ないのですが、合格率は 70%を超えています。

本年平成 28 年度より始まりました、機楽会からの受験奨励金、試験合格金のご支援により、なんとか本学科の受験者数、合格率を向上させたいと考えております。

表 1 機械設計技術者試験（3 級）の受験者と合格者

年度	本学科	全体
	合格者/受験者(合格率)	合格者/受験者(合格率)
H16	37/40 (93%)	405/1328 (30.5%)
H17	36/39 (92%)	515/1415 (36.4%)
H18	29/35 (83%)	596/1588 (37.5%)
H19	29/35 (83%)	588/1484 (39.6%)
H20	34/42 (81%)	579/1854 (31.2%)
H21	31/42 (74%)	789/2215 (35.6%)
H22	29/39 (74%)	727/1940 (37.5%)
H23	30/38 (79%)	629/1934 (32.5%)
H24	22/32 (69%)	813/2096 (38.8%)
H25	24/36 (67%)	862/2279 (37.8%)
H26	24/37 (65%)	850/2269 (37.5%)
H27	19/27 (71%)	829/2223 (37.3%)

4年生研修旅行

機械工学科4年担任 石丸和博

11月8日（火）から11日（金）までの3泊4日、4年生は高専祭の余韻も冷めやらぬまま研修旅行に出かけました。今年は九州北部を中心とした研修旅行となりました。1日目は、学校に集合後、大阪に向かい繁華街（新世界）を散策後、泉大津港より、フェリーにて新門司港に向かいました。2日目は、新門司港レトロ散策、ハウステンボスでの夜間散策、3日目は、2日目に続いてのハウステンボスでの自由散策、長崎原爆資料館・平和公園の見学、そして、雲仙温泉にて体を休めました。そして、4日目は、太宰府天満宮にて、今後の学業上達・受験合格・就職成就を祈願し、博多駅で解散しました。その後はまっすぐ帰宅する学生もいれば、予め自由旅行を計画し出かける学生も多かったです。

例年研修旅行では、2か所の工場見学を含むよう旅程が組まれますが、今年は、大阪に向かう途中で、東レ・カーボンマジック㈱（米原市）、新門司港に着いてから、TOTO㈱小倉第一工場（北九州市）を見学させて頂きました。東レ・カーボンマジック㈱は、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）素材を用いた製品の設計から製造までを手掛けるメーカーで、TOTO㈱は言わずと知れた水回り関連機器のメーカーです。ともに、機械工学科の学生にとって興味深い箇所が多々あり、学生からの質問も多く出て充実した工場見学となりました。また、社会人としてのマナーを身に着けるべく、ハウステンボスに近接する「ホテルオークラ JR ハウステンボス」でテーブルマナーの講習を行いました。以前は5年生の行事として企画されていましたが、近年は、この4年生の研修旅行中に企画されるようになっていきます。スーツ着用での格式ばった少し緊張感のある食事となり、料理の味もよくわからなかったかもしれません。少し疲れたようでしたが、高専生活の思い出となる楽しい研修旅行となったと思います。



高専祭機械工学科専門展

機械工学科4年担任 石丸和博

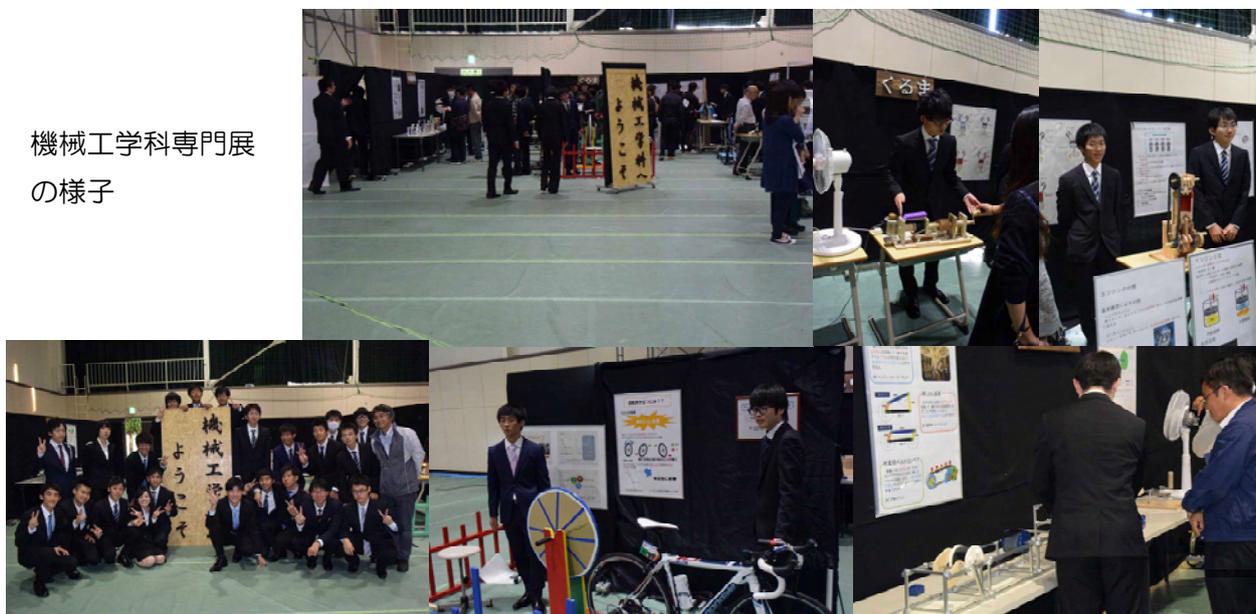
10月29日(土)と30日(日)に第52回高専祭が催され、そのメインイベントとして、5学科による専門展が行われました。この専門展は、例年各学科の4年生が中心となり、学科の特徴を生かした展示等が行われます。今年は、学科ごとのテーマ設定となり、機械工学科では「身近な機械」をテーマとしました。そして、「自動車のしくみ(くるま)班」「自転車のしくみ(自転車)班」「生活・生産現場で使われる機械(いろいろ)班」の3班に分かれて展示に向けた準備を進めて来ました。比較的早目に準備に取り掛かったにも関わらず、学生間の考えが噛み合わなかったり、加工・組み立てがうまくいかなかったりで、なかなか順調に進みませんでした。なんとか間に合わせる事ができました。

近年の高専祭は、いつの頃からか学生はスーツを着て、プレゼンを行うようになってきました。また、校長賞(プレゼンテーション賞、技術賞、総合(先2つの合計))と一般観客賞が設けられ、学生のモチベーションを上げるとともに、学科間で競争が繰り広げられるようになってきました。なお、校長賞は、校長をはじめ本校教員、OB等の方が審査員となります。機械工学科の学生も大いに頑張ったのですが、下記の表の通りで、ちょっと残念な結果となってしまいました。しかし、クラスで一つのことをやり遂げた経験(特に、専門を生かした経験)は、今後のエンジニアとしての人生に大きく生かされるものと思っています。来年の彼らの後輩たちの活躍に期待します。ぜひ、OBの方におかれましては、高専祭に足を運んでいただき、後輩たちの勇姿を見て欲しいと思います。

2016年高専祭専門展投票結果(点)

学科名	校長賞			一般観客賞
	プレゼンテーション	技術	総合	
機械工学科	125(4位)	129(3位)	254(5位)	145(3位)
電気情報工学科	122	146	268	118
電子制御工学科	131	134	265	108
環境都市工学科	151	121	272	216
建築学科	133	128	261	167

機械工学科専門展の様子



若鮎会 50 周年記念事業経過報告

第 3 号でお知らせしましたが、決定事項も含めて再度ご案内します。

1. 記念式典 平成 29 年 9 月 9 日 土曜日 13:00~15:00

会場：長良川国際会議場 入場無料

主な内容：功労者表彰、基調講演、卒業生のパネルディスカッション

2. 祝賀会&懇親パーティー 15:30~17:00

会場：岐阜都ホテル 長良川国際会議場に隣接

会費：5,000円

3. 記念誌発行 各期・各科の思い出の集合写真 + コメント

構成概要：表紙+発行挨拶+恩師からの寄稿+全クラスの集合写真

- ・ コメント+教員の集合写真、部活の写真、
その他若鮎会・各科同窓会規約+編集後記
- 総ページ数 260頁

電子データとし、岐阜高専 HP からのダウンロード方式とする。

4. 『高木貞治博士を称える事業』&本巣市算数甲子園

- ・ 若鮎会賞を新設する。2017 年度より 5 回連続参加者に送る。
- ・ 2016 年 12 月 23 日の算数甲子園から、当日の補助員（学生ボランティア）に
日当の補助金を検討する。

5. OB・OG による公開講座の開催

- ・ JR 岐阜駅近辺で一般市民向けの講座を開催。
- ・ 岐阜高専卒業生で活躍している講師候補者を模索中。

6. 中核人材育成塾 10 周年特別講座の開催

- ・ 岐阜高専地域連携協力会主催の「中核人材育成塾」は OB が講師を務めて地域企業を
対象に開催し今年で 7 年目を迎えた。昨年までに延べ 2000 人以上が受講した。
10 周年は 2019 年であるが記念事業に関連させて特別講座の開設を検討する。

7. ノベルティ関係（記念グッズ作成・販売他）

- ・ ピンバッチ 3,000 個作成（20×20mm） 疑似七宝仕様
2016 年度必要数 本科学生+専攻科生全員に配付する。1100 個
教職員+新入生+式典参列者。 1900 個
今年の卒業式には配付したいということで、できるだけ早期の発注を希望されました。
- ・ クリアファイル（若鮎会）を 3,000 枚作製

以上、予算は 9,606,000 円となりました。（決定）

次回 1 月 14 日開催です。ご意見等がございましたらお受けします。（報告者 太田哲也）

親子二代で機械工学科へ

25期生 梅田 茂之

機楽会 35 周年パーティに参加させていただいた際にお会いした編集委員の太田先輩から、facebook を通じて突然の振りでいささか困惑しましたが、僣越ながら寄稿させていただきます。

現在、東京都立川市で一男二女の父親として、ソニー生命保険で財務コンサルタントとして勤務しております。地元から離れ早 20 年になりますが、自治会長や市の PTA 連合会会長を拝命する中で、子供たちがお世話になった立川市に恩返しするつもりで、親子プログラミング講座や将棋教室など好きなことをやらせてもらっています。

私は名古屋市西区で生まれましたが、5 歳の時に父親と死別し、岐阜に移り住みました。昼夜働く母を見て早めに就職できるようにと考え昭和 62 年に岐阜高専に入学し、平成 4 年に卒業しました。当時母はまだ働いておりましたので、それに甘える形で名古屋大学に編入し、博士前期課程を修了しました。その母も、数年前に大病を患いましたが、今は回復しもうすぐ古希を迎えます。

大学では情報工学を専攻しました。高専で小栗先生に教えていただいた有限要素解析を大型解析するため、3 年生の時に PC-9801 の 640KB のメインメモリを拡張する EMS (死語) のライブラリを C++ と Pascal で作ったのですが、これが卒研レベルだと褒めていただいたのが大きなきっかけになり、コンピュータにますますハマっていきました。

小さなコンピュータが好きで東芝に就職し、平成 14 年まで青梅事業所で Libretto や Dynabook のソフトウェア開発に従事しました。楽しくやらせていただきましたが、当時保育園に預けていた長女が熱性けいれんを頻発していました。平成 14 年初頭、けいれん後目を覚まさず、市外の病院まで搬送され「あれ、ここどこ？」と目を覚ましたのですが、2 週間の入院を余儀なくされました。その間、長女に寄り添いながら、モバイル環境で開発を続けたのですが、当然効率が下がりチームの足を引っ張ることになりました。

病院での時間は、お客様の顔が直接見えない開発を続けていたことを改めて考えさせられるきっかけにもなりました。そんな時、NEC で IA64 のチップセットの開発などに携わった営業所長から声をかけられ、営業職、そして未知の世界への恐怖はありましたが、その年の 5 月にソニー生命保険に転職するに至りました。

現在では自営のような働き方をしながら、保険というパーツを限られた予算の中で組み合わせ、効率を最大化するというエンジニアリング的な思考を活用しながら、お客様一人一人に関わり喜んでいただけるという日々です。気がつけば開発職よりも長くなり、老後を迎えるまで続けるつもりでおります。

さて、その長女ですが、平成 27 年に古巣の機械工学科に寮生として高専に入学しました。恩師への挨拶も兼ねて高専祭に毎年のように遊びに連れていくうち、既に小学生の頃から岐阜高専に進学するという想いがあったようで、作文にも残していました。これまた古巣の囲碁将棋部で C 科の鈴木孝男先生の指導を受けながら、自身は果たせなかった全国大会への出場も果たしてくれました。諸々うれしい反面、いささか寂しい状況ではありますが、仕事を絡めて出張などの度に毎月会っている、と長女からは指摘されています。聞けば現在の岐阜高専は、リケジョブームからか女子の割合も年々高くなり、留学生をはじめ、東京だけでなく様々な都道府県からも入寮しているとのことで、在学していた頃に比べてずいぶん様変わりしているようです。このまま無事卒業し、35 周年記念に続き、長女と共に機楽会に顔出しできる日が来ることを楽しみにしています。

今は立川市で地域活動にいそしんでおりますが、いつか親子共々お世話になった岐阜高専にも何らかの形で恩返ししていきたいと思っております。



岐阜高専吹奏楽部 第50回定期演奏会および関連イベントのご紹介

吹奏楽部OB・OG会「B♭会」 会長 河村光康、監査 坂井善幸

岐阜高専機械工学科同窓会「機楽会」会員の皆様へ

早いもので学校創立50周年を迎えて5年目となりますが、皆様如何お過ごしでしょうか？

さて、来る2017年3月には50期生が卒業を迎え、同窓会組織である「若鮎会」も発足50周年記念事業の一環として、2017年9月9日に記念式典を計画されておりますが、それに先立ち吹奏楽部並びに「B♭会」では下記のイベントを予定しておりますのでご紹介致します。

1. 岐阜高専吹奏楽部 第50回定期演奏会（入場無料）

日時 平成29年1月22日（日） 13:30 開演

場所 羽島市文化センター 「スカイホール」

今年度の演奏会では50回を記念して、第3部は現役とOB・OGの合同演奏ステージです。従来より5年ごとにOB・OGを交えて合同演奏をしておりますが、総勢80名近い大編成の迫力満点の演奏になるものと思います。

2. 岐阜高専吹奏楽部 OB・OG会「B♭会」祝賀会（対象者：B♭会員）

日時 平成29年1月22日（日） 17:30（定期演奏会終了後）

場所 羽島市文化センター 4階レセプションルーム

B♭会員の皆様には10月中旬に案内状を送付済ですが、未確認の方がおみえでしたら下記の関係者まで連絡いただければ幸いです。

問い合わせ先：	B♭会長	河村 光康（C10）	dreaming37@nifty.com
	事務局長	渡邊 浩（A02）	watanabe@totii.co.jp
	監査	坂井 善幸（E03）	ysakai@ylw.mmtr.or.jp
	幹事	伊藤 和男（M15）	pochi.k@gmail.com
		小栗 勝仁（C20）	yukinko_1121@yahoo.co.jp

3. 吹奏楽部の定期演奏会の歴史並びに「B♭会」のご紹介

吹奏楽部以外でもOB・OG会を設け現役への支援や卒業生相互の交流を図っておられることと思いますが、折角の機会を頂きましたので創設時の部活動やB♭会について紹介させていただきます。

[坂井（E03）記]

<定期演奏会の歴史>

第1回の定期演奏会が開催されたのは昭和43年1月28日（日）、会場は新築されたばかりの岐阜市民会館の大ホールです。一方、吹奏楽部は創部4年目で30名編成の小さなものでした。

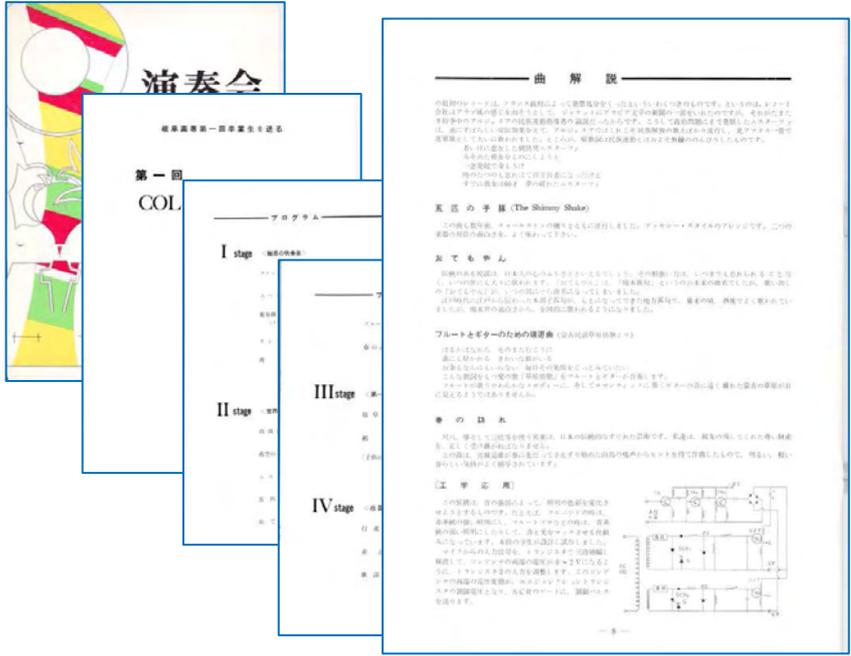
ある日の練習で、今井部長（E01）から「演奏会を岐阜市民会館で開催する」と聞かされた時にはとても驚きました。本格的なコンサートホールで演奏するのは初めてで、果たしてどんな演奏会になるのか不安と楽しみが交錯していたのを覚えています。

第1回のプログラムを見ると、飯沼校長先生のご挨拶の中に面白い一節が書かれています。

「本校開設の翌年に文部省から吹奏楽予算がつけられた頃には、バンド経験者はほんの2、3名にすぎず、果たしてバンド編成が成り立つかどうか全く不安なものでした。当時の練習風景は、ピーピー、

ギャーギャーとまるで殺人的な騒音と狂燥ぶり、教官から練習排除の要求が出たりしました。・・・」と。

そして当日の演奏は、なんと第4ステージまでありました。さらに工学色を出そうということで、電気1期生の有志がSCRを使った調光装置を製作し、ステージの音量に反応して色調を変化させて表示していました。調光装置の回路図が掲載されているプログラムは世界中でも他に例がないと思います。



<創設時の活動について>

私たちが入部した頃は固定の練習場所はなく、機械工場などを経て、体育館が完成してからはステージ上でした。バスケットボールやバレーボールの攻撃を受けながらの練習は懐かしい限りです。それに比べると現在は専用の部室があり、狭いながらもその中で合奏が出来るのは素晴らしいことです。

そしてステージドリルもマスターし、コンクールにも大学の部として毎年出場できるバンドに成長して、定期演奏会も50回を迎えることができ、歴代のメンバー諸氏の努力と学校側の温かいご支援に感謝する次第です。

現在はどうか判りませんが、当時は楽器の練習の他にもう一つ苦しい練習がありました。それは水曜と土曜の運動の時間です。楽器練習が終わった後、グラウンドでのうさぎ跳びや藪川までのランニングなど実にユニークでした。他にはステージ用の制服を買う資金稼ぎのため、日曜日に全員で行った土木工事のアルバイトなどが実に楽しい思い出です。

<B♭会の設立と運用>

第1回の定期演奏会が開催され1期生が巣立った翌年からも定期演奏会は引き続き開催することができ、その都度卒業生も演奏会場に集って、自然にOB・OG会の結成に至りました。名前の由来は主な楽器のクラリネットなどのドの音程がB♭であることから「B♭会」に決まりました。創設時に練習場所が定まらなかったことから、「専用の練習場または合宿所を建てよう」と大いなる夢を抱いてのスタートでした。そして今は亡き大野武久氏(MO2)が名古屋大学修士課程を修了後、岐阜高専に着任され吹奏楽部の顧問となられたのを契機に「B♭会」と現役との絆も強くなり、今日まで至っております。

このたび第50回演奏会を迎えるにあたり、創設期のメンバーから最新の49期生まで幅広い世代のOB・OGが一堂に会し、50回定期演奏会の開催を祝うとともに、100回の演奏会に向けての結束を固めていきたいと考えています。

それでは皆様、1月22日には是非とも羽島文化センターへ足をお運びいただき、吹奏楽部の演奏会を楽しんで頂くとともに、吹奏楽部OB・OG諸氏との久しぶりの再会を満喫して頂ければ幸いです。ご家族そろってのご来場を心よりお待ちしております。

岐阜工業高等専門学校 吹奏楽部

第 50 回定期演奏会

日時:2017/01/22(日)

13時00分 開場 13時30分 開演

場所:不二羽島文化センター スカイホール

プログラム:

第1部 Symphonic stage(♪ポロヌブ など)

第2部 Pops stage(♪塔の上のラブンツェル・メドレー など)

第3部 OB 合同演奏 stage

(♪吹奏楽のための犬夜叉、IN THE MOOD など)

入場無料

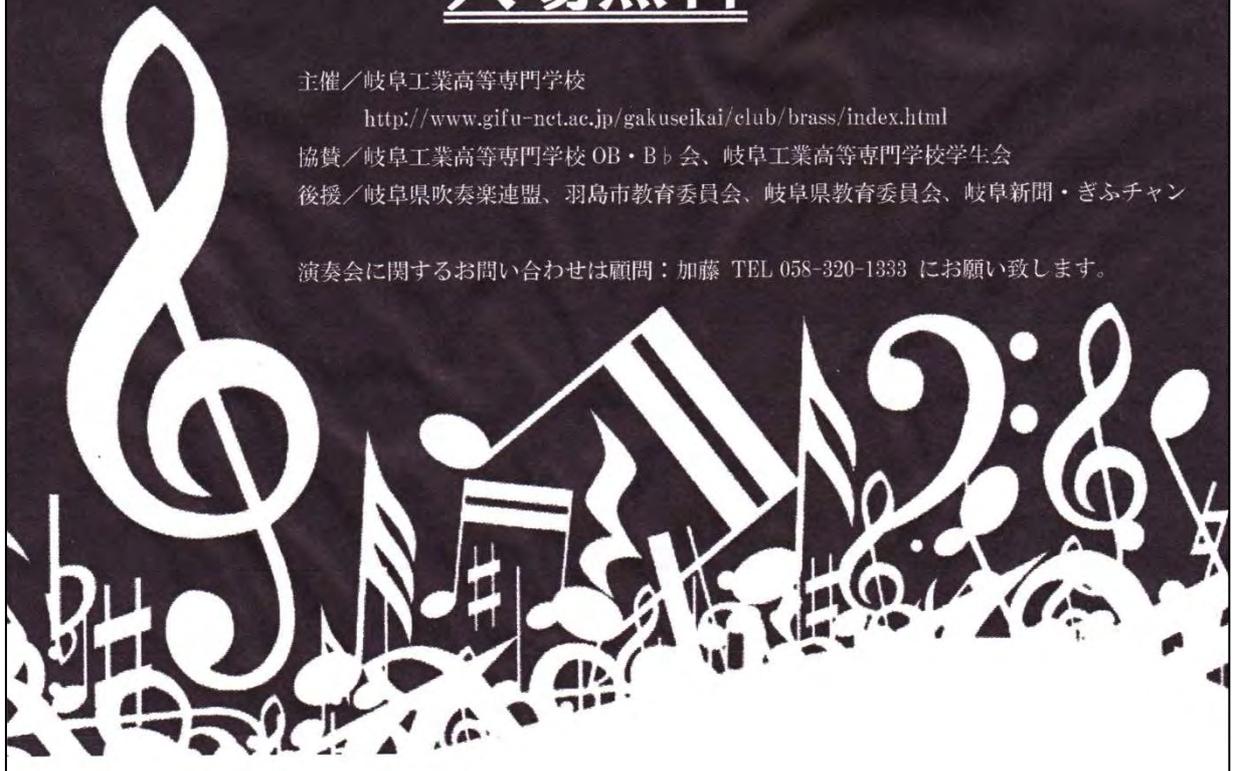
主催/岐阜工業高等専門学校

<http://www.gifu-net.ac.jp/gakuseikai/club/brass/index.html>

協賛/岐阜工業高等専門学校OB・B♭会、岐阜工業高等専門学校学生会

後援/岐阜県吹奏楽連盟、羽島市教育委員会、岐阜県教育委員会、岐阜新聞・ぎふチャン

演奏会に関するお問い合わせは顧問:加藤 TEL 058-320-1333 にお願ひ致します。



クラス同窓会で特典!

一人につき 2,000 円補助!
若鮎会 50 周年記念式典の日に
2 次会同窓会を企画したら、今回に限り
1,000 円→2,000 円
幹事さん、早めにご計画を!

編集後記

第4号を発行することができました。年4回春夏秋冬の季節の変わり目に発行する計画が実行できたことをうれしく思います。内容も学校からの報告や同窓会の案内、卒業生からの便りなど話題に恵まれました。今後も皆さんの協力のもと、定期的に発行できるようにしたいですね。

編集委員

- 6M 太田哲也 年の瀬のあわただしい時期に発行する予定では無かったのですが、ブラバンの50周年定期演奏会紹介がありましたので12月中に発刊することになりました。皆さんの協力のお陰でした。感謝します。
- 8M 犬飼宏好 今回は都合が悪くて編集会議に参加できず、メールによる記事の添削しか貢献できませんでした。編集委員の皆さまには申し訳ないです。次回こそ・・・
- 15M 中尾賢治 今回のメルマガで紹介されているブラバンの定期演奏会、35年前に行ったきりです。久しぶりに今回は聞かせていただこうかと思います。
- 24M 山田 実 最近岐阜が「聖地」となっているようです。しかし、岐阜県の魅力度ランキングは47都道府県中42位(2016年)。まだまだ岐阜の良さは知られていないようですね。
- 33M 伊藤友裕 昨年に続き高専祭に行ってきました。ちょんぼも盛況でしたね。OBのブース出しても面白いかなと思いました。

発行日/2016年12月26日

責任者/中野廣幸

発行/岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343 FAX 058-320-1349

<http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/ob.html>